



社会福祉法人愛知いのちの電話協会

名古屋いのちの電話

<http://www.nagoya-inochi.jp/>

24時間 365日ボランティアで寄り添う

社会福祉法人愛知いのちの電話協会 事務局長 兼 田 智 彦

1985年7月1日に「名古屋いのちの電話」として産声を上げた当時は、朝10時～夜10時の12時間365日、休みなく電話相談を行っていました。しかし、いのちの電話として一人前になるには24時間体制の実施が求められていました。

一度始まった時間帯の拡大はかなりの時間を要しました。何度も話し合いを持ち24時間相談が可能な拠点に移転して1999年5月1日から24時間化を始めることができました。

24時間365日、自殺予防のための電話相談をボランティアだけで行っているという事実は大変重いものです。ボランティアによる傾聴相談に効果があるのですが、その相談窓口が24時間開かれているということに意義があると思います。

昨年、私たちのボランティア活動が30周年を迎えることができました。そのスローガンとしてこれまで取り組んできた「寄り添い続けよういのち」を掲げました。

私たちの生きて
いる現代社会の
中で一人で悩
んだり苦しん

だりしている方はたくさんいらっしゃると思います。そういう方たちが、少しでも元気になっていただけるように、いのちの電話は24時間相談窓口を開けておくことが大切ではないでしょうか。

また、最近では若い方たちが電話を利用しなくなりました。これはいのちの電話の統計でもわかりますが、利用者の年代は40代以上の方たちが中心です。若者の相談ツールとしてインターネットを利用した「いのちの電話インターネット相談」に当協会も参加しました。

若者の自殺の実数は少ないのですが、死因の上位を占めています。これからの社会を生きていく若者に寄り添っていくにはネットによる相談が必要なのです。

これからのいのちの電話に求められるものは何か、これまで行ってきた相談のしやすさを大切にしながら、地域の社会資源として、多くの市民に支えられ認められる存在になっていく必要があるのではないのでしょうか。



特集 フリーダイヤル
2015年「自殺予防いのちの電話」

「自殺予防いのちの電話」(厚生労働省補助事業)はフリーダイヤル 0120 - 738 - 556 で、全国いのちの電話をオンラインで結び、実施しています。

2015年で15年目を迎えました。この間、2007年までは毎年12月に7日間行われてきましたが、翌年の2008年からは毎月10日の午前8時から翌日午前8時までの24時間対応となり、現在は全国49センターが参加して行っています。2015年の「自殺予防いのちの電話フリーダイヤル」の受信実績は次の通りです。

—2015年全国統計受信件数—

図1 2015年の全国受信件数は30,387件(内訳:男性16,547件 女性13,840件)、自殺関連の相談は全体の25.8%に当たる7,830件(内訳:男性3,834件、女性3,996件)でした。

開設から第15回までの総受信件数は314,279件になりました。

*統計資料は日本のち電話連盟より

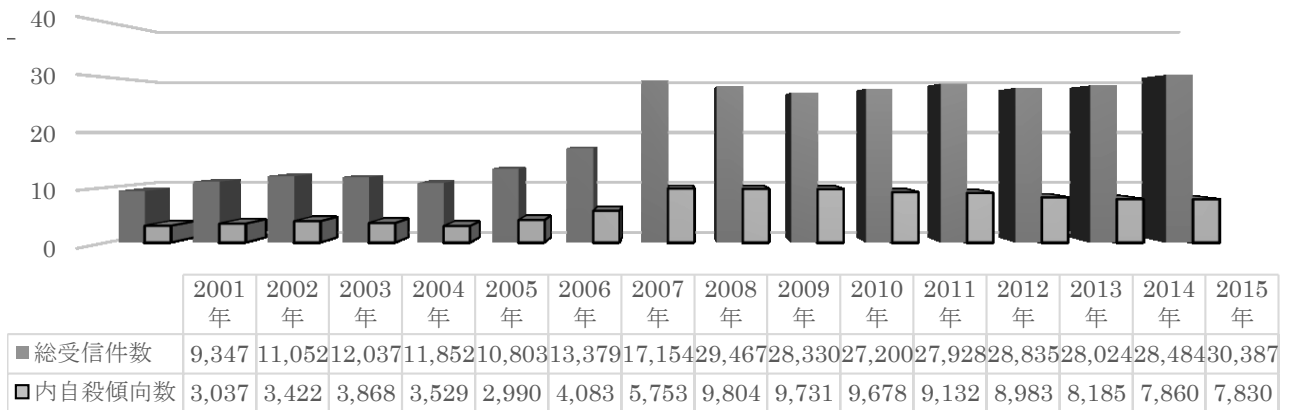


図1 年別受信件数

■総受信件数
■内自殺傾向数

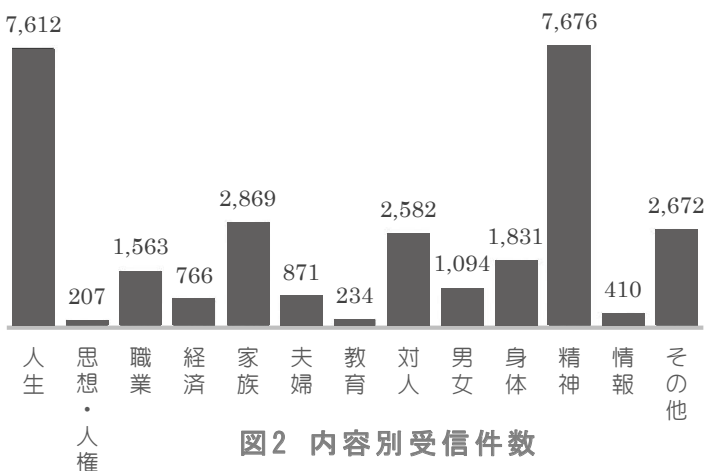


図2 内容別受信件数

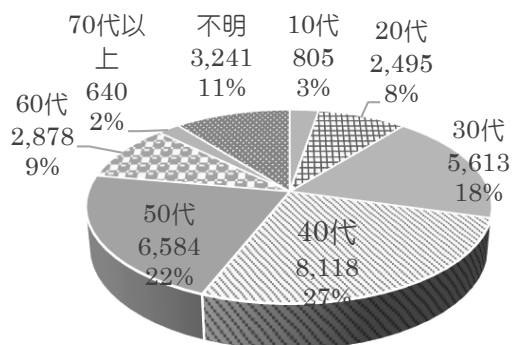


図3 年代別受信状況

(図2) 内容別受信件数 精神と人生がほぼ等しい件数で最も多く、家族と対人が続きました。

(図3) 年代別受信件数 40代が最も多く40代50代で全体のほぼ半分(49%)に当たります。

—名古屋いのちの電話—

2015年の当協会の受信件数は824件(内訳男性470件 女性354件)、自殺関連の相談は全体の17.6%の145件でした。年間288時間にのぼる「自殺予防いのちの電話」への対応は現状では受信能力の限界と考えられます。毎月10日の「自殺予防いのちの電話」は通常ダイヤルとの両立で対応しています。

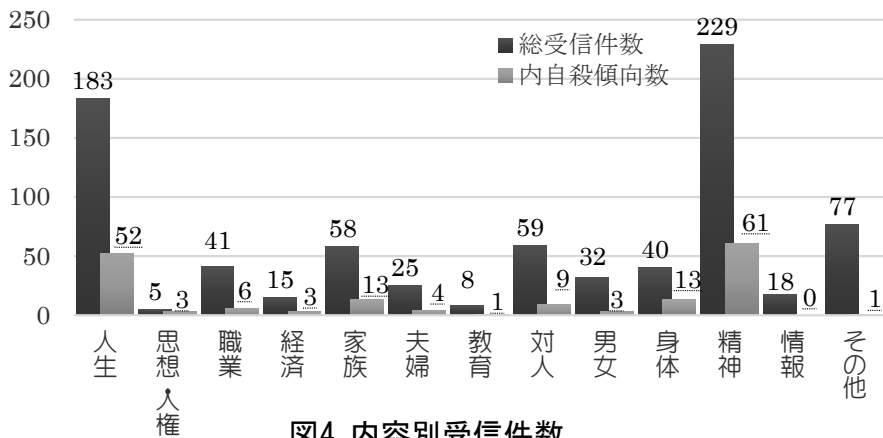


図4 内容別受信件数

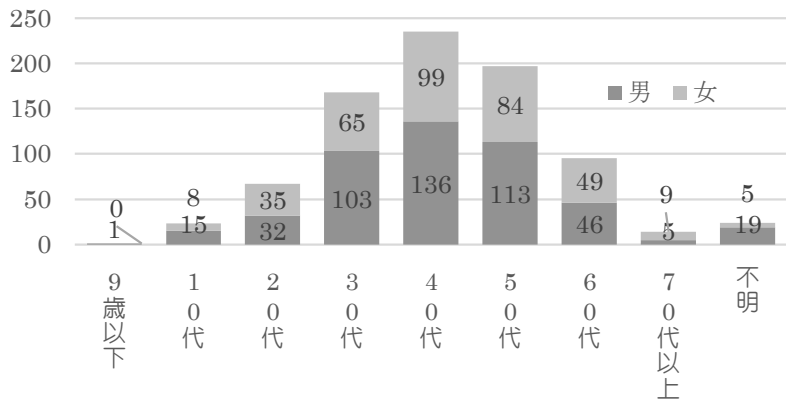


図5 年代別受信状況

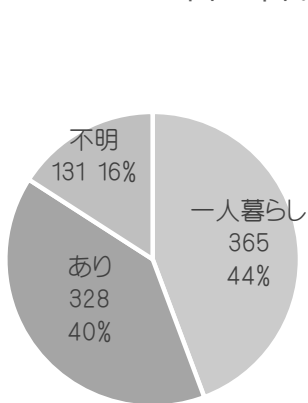


図6 同居人の有無

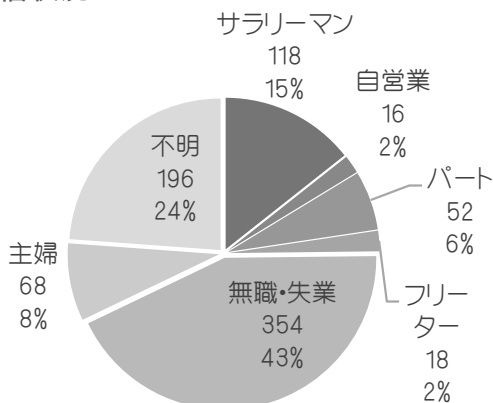


図7 職業分布

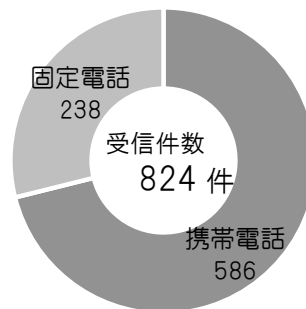


図8 電話種別

図4

精神が最も多く、次に人生、ついで家族と対人がほぼ等しい状況です。

図5

40代が最も多く、50代、30代と続いています。

図6

情報が得られた824人中365人(44.2%)が一人暮らし、328人(39.8%)が家族または同居人がいる人でした。

図7

無職・失業の方からの電話が354人(44.3%)と最も多く、サラリーマン・主婦と続いています。

図8

携帯電話からの相談が586件(71.1%)、固定電話からは238件(28.8%)でした。

23期生座談会

昨年8月から相談員としての活動が始まった23期生を囲んでの座談会が4月21日、ベルの会主催で行われました。お茶やお菓子が用意され、先輩相談員の参加もあり、和気あいあいの雰囲気の中で進みました。23期生のみなさんは、電話相談を始めて感じていることなどを率直に話されました。以下に主な意見をまとめました。

【電話相談を始めてみての感想は】

- 電話を切られる際に「ありがとう、おやすみなさい」と言われるとよかったと思う。
- 「死にたい」と電話が掛かってきても、別のことを話されることもあるのでとまどう。
- （話してもらった電話の内容は）みんな忘れるようにしている。アドバイスしちゃいけないと思うが、なかなか難しい。
- 自分のメンタルが弱いときがあって大変。
- 仕事が忙しく、自分が電話したいと思ったこともあった。
- 利用者から教えられたこともある。
- 「死にたい」と言われると、不安になる。

【先輩相談員の印象は】

- 頼もしい。
- 気をつかってもらえる。

- お茶を出してもらったり、先輩にやさしいことをされると、かえって戸惑う。

【驚いたことは】

- 利用者の中に、相談員を評価するようなことを言う人がいる。

【相談員になって変化したことは】

- 街ですれ違った人が利用者だったら、と思うようになった。
- 都会のロマンのようなものを感じることもある。違う人生を味わうひととき。普段の生活ではあり得ない。
- 親や兄弟との距離が縮まった。自分をコントロールできるようになった。
- 人の悩みにはそれほど大きな差はない、と感じられるようになった。自分が電話を掛けていても不思議ではないと実感するようになった。
- 最初にとった電話が「死にたい」だった。その時の動揺した気持ちから、今は強くなったと思う。
- 「会話」と「対話」の違いが分かるようになった。
- 目を見て話すことができないので、感情を伝えるのにどうしたらうまくいくか、考えるようになった。（まとめ・広報委員会）



親愛なる新しい仲間の皆様へ

I・Y (4期相談員)

心より歓迎と連帯の意を申し上げます。

思い起こせば子育ても一段落し「何か役に立つことが出来るかもしれない・・・」との期待と不安が入り混じった私のスタートでした。それから27年の間には仕事、体調不良、親の介護、孫の世話など「もう～ ダメ!」と何度も挫折しそうな連続でした。其の度に先輩、仲間を支えられ何度もお休みを頂きながら今日にいたっています。

「死にたい」と切々と訴える若い女性が突然「どうして夜も寝ないで電話を取るのですか? 相談員さんはボランティアですよ!」との問いかけに「あなたと一緒に幸せに成りたいから・・・」と応えている私がありました。しばらく沈黙が続き「今日はうれしかったです。ありがとうございます。」との言葉に『一緒に幸せに成りたい』との自分に気づかされました。

私にとって『老いと共に生きる』ことはかつてない経験であり、加齢と共に社会との窓口も徐々に狭められる中『いのちの電話』では社会と繋がっ

ている喜びでもあります。もうしばらくの間この喜びを頂きたいと思っております。利用者と一緒に公園のベンチで肩を寄せ合って同じ景色を眺めながら寄り添うような聴き方が出来たら・・・と思うようになりました。

皆様の人生の長い道のりには困難な時もあると思いますが、そんな時はどうか、どうか、仲間を信じて助け合って、時にはお休みもしながら続けて下さい。きっと良いことがあると信じています。



賛助会員コーナー リレーメッセージ

伝えます! いのちの大切さを



アイシン精機株式会社
総務部さわやかふれあいセンター長
杉田 英俊

弊社は1988年より、「いのちの電話」の尊い活動に共感し、賛助会員の一端に加えていただいております。

弊社は、社会貢献活動の柱の一つである「青少年育成」の一環で「アイシン環境学習プログラム」を実施しております。これは、小学生を対象に環境意識の醸成をはかり、児童自

らエコアクションにつないでもらうことが目的でアイシングループとして実施しておりますが、私どもが本当に伝えたいのは「私たち人間を含めた生き物のいのちを守るために、環境を守らなければならない」ということです。理解してもらえた児童は、きっと大きくなっても、他人そして自分も大切にしてくれる人間に育ってくれるだろうということを願い、日々活動しております。

今後とも一会員として、微力ではありますが、より多くの小学生に「いのちの大切さ」を伝えると共に、「愛知いのちの電話協会」様の活動をより多くの社員に伝えたいと思えます。

社会福祉法人愛知いのちの電話協会 2015 年度事業報告

1 相談事業

(1) 電話相談

①電話相談の状況

総受信件数：15,876 件（前年 17,697 件）11.3% 減

②研修（2015 年 6 月から 2016 年 3 月）

電話相談の資質の向上と相談員のケアのためにさまざまな研修を継続的に行っています。

- 継続研修、スーパービジョン、1 日研修、宿泊研修、連盟研修：裁判傍聴、フリーダイヤル研修、市民講座：自死遺族に寄り添って、電話相談員養成 23 期・24 期

③ネット相談 2015 年相談件数 84 件 担当表のネット化実施

2 広報啓発事業

- 30 周年記念事業 創立記念祝賀会・記念コンサート・冊子愛知いのちの電話作成・リー

フレット作成

- 広報誌の発行：年 3 回 1500 部・ホームページの充実・ティッシュ+カード配布・大韓民国ソウル江西地区福祉関係者視察：11 月 11 日 20 名

3 イベント参加

- デンソーハートフル祭り・スマイルデーなどや・自殺予防デー(9 月 10 日)・イオンイエローレシートキャンペーン：イオン名西店：毎月 11 日

4 講師派遣事業（傾聴・いのちの授業・自殺予防など）

5 法人本部

- (1) 理事会・評議員会の開催 5 月 10 月 2 月 3 月・1 月合同懇談会
- (2) 賛助会員・寄付の募集：年間
- (3) センターの維持管理・事務局スタッフの充実

◆ 2015 年度財務報告（資金収支計算書 経常活動）

資金収支計算書					
項目		2015 年度	項目		2015 年度
経常活動収入	補助金	3,616,000	経常活動支出	人件費支出	4,449,105
	会費	5,512,000		事務費支出	12,453,669
	寄付金	6,810,887		事業費支出	1,906,741
	講座受講料	310,684			
	登録更新料	132,000			
	チャリティ事業	664,000			
	受取利息	1,266,770		合計	18,809,515
	雑収入	31,151		収支差額	-466,023
	合計	18,343,492		合計	18,343,492

賛助会員を募集しています

ご協力をお願いします

振込用紙を同封させていただきます。寄付金は、社会福祉法人として税法上優遇措置が受けられます。

- (1) 法人賛助会員（年間 1 口） A 20 万円・B 10 万円・C 5 万円
- (2) 個人賛助会員（年間 1 口） A 10,000 円・B 5,000 円・C 3,000 円
- (3) 一般寄付：随時受け付けております。
- (4) 夏季及びクリスマス・歳末の特別寄付：随時受け付けております。

口座名： 社会福祉法人愛知いのちの電話協会
 銀行口座番号： 三菱東京UFJ銀行大津町支店（普）477029
 郵便振替口座： 00810-8-53758

ご援助ありがとうございます

2016年1月1日より2016年3月31日までに下記の方々から暖かいご支援をいただきました。一同深く感謝いたしますと共にご報告を申し上げます（順不同・敬称略）。なお、上記期間内に何度もご支援くださったかたもお名前は1回にさせていただきます（2015.12.16～2015.12.31の追加分含む）

社会福祉法人愛知いのちの電話協会 理事長 小山 勇／財務委員会

賛助会員 A

小出芳典	出口美津江	岡田康男	鷗野秋信	下村徹嗣	大島恭子	大野智彦	宮之原弘
堀江和史	岡島博司	檜尾一	渡辺邦俊	塩田保	芝原慶次	前田豊子	柳原佳枝
小室美奈子	飯尾啓子						

賛助会員 B

伊藤まり子	浅井恵子	河村公子	浅井俊雄	加藤幸雄	小笠原覚	岡部美代子	塩野高子
平野義明	西村穰	菅原美智子	加藤明宏	竹村絹子	島津通	神戸一子	高橋青子
粕谷靖彦	金森タイ	芝原慶次	林喜代乃	菅原美智子			

賛助会員 C

高橋栄一	本多恵実	河村清子	栗田昌子	鳶村春美	水谷敦子	北条とく子	河田いさを
近藤和子	近藤直枝	森田武彦	西村三緒子	田中良子	渡邊和郎	藤井恵	入山達雄
酒井裕子	湯瀬美知子	小川義男・マリ子		鹿島雅世	鈴木美登里	酒井裕子	山本幸江
初井敦子	栗田昌子	水谷真	山田敦代	榊田陽子			

寄付・個人

佐藤弘子	野田義行	大洞陽子	森川信子	小川邦奏	服部由美	中北昌美	平田たづ子
山本幸江	坂東信吾	村井美智子	加藤峯子	金子範子	高木政市	柳澤幸輝	山下智恵子
小野宏	中出智恵子	渡辺直人	滝順子	笠井康助	高橋孝子	山下タカ子	鹿島雅世
上田きよ	中川幸子	村瀬政子	石川とみ子	神谷史	前田誠一	豊田絢子	小松徹
大塚早苗	井坂津矢子	横井弘子	石川堯子	白木久美子	米田一男	小川邦泰	井上直美
渋澤治子	河田いさを	金子紀子	後藤英文	相川義治	榎本和	野村純一	井澤陽子
岩田康子	柳澤幸輝	鈴木正	鈴木恭美	坂田敏子	村田京子	佐々木広子	大西光夫
鈴木栄子	石田きく江	服部昭子	田中丸富紀子	高橋紀代子	末本まき	浦山仁美	山本秀樹
金岡明美	シミズサトシ						匿名3名

法人会員・寄付

NPO 法人イエローエンジェル	株式会社みどり造園	トヨタ紡織株式会社	愛知トヨタ自動車株式会社
大同メタル工業株式会社	株式会社榎屋	株式会社デンソー	小島プレス工業株式会社
川北電気工業株式会社	アイシン精機株式会社	トヨタホーム株式会社	株式会社オティックス
公益財団法人森村豊明会			

寄付協力団体

武田ビル株式会社	宝泉寺	寂光院	専念寺	興禅寺
カトリック布池教会		瀬戸聖書バプテスト教会		聖心の布教姉妹会鳴海修道院
カトリック小牧教会		蓬萊民正児童協議会		日本キリスト教団名古屋北教会

クリスマス募金・歳末募金

小栗厚紀	平尾泉	吉田加代子	河野登喜子	水野愛子	上田望	高橋栄一	伊藤まり子
神田喜代子	大久保義美	尾関静枝	清野敏子	平野直子	森岡諭	岩田邦子	加藤みゆき
谷口明	水谷宜美	鷗野秋信	笠井康助	渡辺香代子	西村清	泰良真理子	平井瑞子
宮内英夫	梨本將代	中出智恵子	岡崎強	中谷聖子	杉藤はる子	鈴木郁雄	西村三緒子
田中良子	中野悦美	小坂橋秀行	竹村絹子				
カトリック半田教会		日本基督教団めぐみ会		聖ドミニコ宣教修道女会岡崎修道院			
カトリック日比野教会		日本基督教団豊田教会		ドミニコ会聖ヨゼフ修道院			
カトリック聖マリア在俗会		日本基督教団南山教会		金城学院大学キリスト教センター			
日本キリスト教団半田教会		日本基督教団中京教会		金沢聖霊総合病院			
日本キリスト教団豊山教会		日本基督教団岡崎教会		名古屋中央教会			
日本キリスト教団天白教会		日本基督教団豊田教会		名古屋聖ステパノ教会			
日本キリスト教団愛知守山教会		日本基督教団春日井教会婦人会		愛知聖ルカ教会			
日本キリスト教団南山教会婦人会		広路教会		林高寺			

事務局だより

事務局では初夏の花が飾られ、出入りの方々を癒しています。

今年も暑さの厳しい夏になりそうです。少しでもホッとできる空間をと考えています。



相談委員会より 新年度スタート

2016年度の研修グループも始まり、新年度のスタートです。今年度も「より質の高い相談活動」を目指して研修を充実させていきたいと考えています。

今年度は各グループで「研修係」が選出されます。グループ間で自主研修の方法について共通理解を図り、講師懇談会や研修会への参加が計画されています。

市民講座のご案内

愛知いのちの電話協会主催の市民講座を次のように計画しています。

日 時：2017年1月28日（土）
13時30分～

講 師：NPO法人主宰 清水康之氏
会 場：名古屋市中区・栄ガスビル
(予定)

テーマ：若者の自殺について

養成委員会より

相談ボランティアの募集についてHP上でも次のように案内されています。

多くの方のご応募をお待ちしています。

あなたを必要としている人がいます

いのちの電話相談ボランティアは、現代社会の中で様々な悩みを抱える人々に寄り添い、じっくりとお話を聴かせて頂くボランティアです。ぜひ、1年半の研修を受けボランティアとしてご活躍ください。

- 1 研修期間 前期・後期・1泊研修：
2017年4月～2018年9月(木曜 18:30～20:30)
全課程修了後に実習研修：5ヶ月
- 2 研修会場 みこころセンター (名古屋市中区丸の内3-6-43)
- 3 応募資格
 - ① 22歳以上 65歳以下の男女
 - ② 「いのちの電話」の趣旨に賛同し、活動に参加できる方
 - ③ 無償ボランティアとして活動できる方
 - ④ ご自身の健康管理に配慮できる方
- 4 募集人数 30名程度
- 5 受講料 前期 20,000円 後期 20,000円
1泊研修費 10,000円
- 6 応募書類
 - ・受講申込書 (HPからダウンロードできます)
 - ・作文「電話相談ボランティア応募の動機」
1600字程度
- 7 申込締切 2017年3月15日(土)
受講申込書と作文を郵送して下さい
- 8 郵送先 〒461-8691 名古屋市中区東郵便局 私書箱257号
社会福祉法人 愛知いのちの電話協会
- 9 問合せ 事務局 Tel(052)508-8381 fax(052)508-8384
E-mail info@nagoya-inochi.jp
- 2017年4月開講 社会福祉法人 愛知いのちの電話協会
- 10 後援 愛知県・名古屋市(申請予定)